

# VMware Workspace ONE: Unified Endpoint Mgmt Troubleshooting, Adv Integration, and Design Fast Track (VMware Workspace ONE : 統合エンド ポイント管理のトラブルシューティング、 高度な連携、および設計の短期集中コース)

## コースについて

この 5 日間の集中コースでは、通常より時間を延長して VMware Workspace ONE® Access™ コンソール (旧称 VMware Identity Manager™ コンソール) の操作と管理の方法を学習します。実習、シミュレーション、対話型の講義を組み合わせたこのコースでは、VMware Workspace ONE® UEM (統合エンドポイント管理) プラットフォームの各種コンポーネントで発生する可能性がある問題を調査、分析して特定する方法を学びます。

エンタープライズと生産性との統合、デジタルワークスペース統合、認証方法、アクセス ポリシー、Web リソースと仮想リソースとの統合、VMware Carbon Black、および Web リソースへのシングル サインオンの構成方法について学習します。このコースでは、ID、エンドポイント セキュリティ、アクセス管理の原則を学びます。

VMware Workspace ONE® ソリューション設計の基礎を習得することができます。このコースでは、一般的なソリューション設計のロジックとプロセス フロー、Workspace ONE UEM のユースケースを取り扱います。Workspace ONE ソリューションの設計と提供の各フェーズ、Workspace ONE ユースケースの各分野、およびソリューション設計の作成方法を学習します。

Workspace ONE ソリューションを導入してデジタルワークスペース体験を提供し、デジタルワークスペースの転換を図るために必要なスキルと知識を習得できます。

## コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- Workspace ONE UEM の一般的なトラブルシューティング ロジックの要約
- 一般的なコンソールの問題を判別して対処する
- 一般的な Workspace ONE の連携の課題を予測する
- エンドポイント、E メール、アプリケーション、コンテンツのトラブルシューティングのベスト プラクティスの概略
- Workspace ONE Access でサポートされる認証方法の概略と説明
- Workspace ONE での Kerberos と SAML 認証プロトコルの使用方法の要約
- アプリケーション シングル サインオンの説明
- Office 365/Azure AD と Workspace ONE の連携の概略
- Okta と Workspace ONE Access の IdP 連携の概略
- AD FS と PING の連携の概略
- ブリッジングと IdP チェーンニングを識別する意図の説明
- 従来方式と最新の PC ライフサイクル管理の比較対照
- VMware Horizon® と Workspace ONE Access の連携
- VMware Workspace Security™ を導入するメリットの説明
- 高レベルの Workspace ONE 設計方式とアーキテクチャの種類の概略
- 組織に適したデジタルワークスペース ユースケースの判別
- 論理設計と物理設計の主要コンポーネントの要約
- Workspace ONE の提供フェーズの概略

## 対象者

Workspace ONE の管理者、モバイルと ID の上級管理者、アカウント マネージャ、ソリューション アーキテクト、ソリューション エンジニア、セールス エンジニア、コンサルタント

## 前提条件

このコースを受講するには、次のいずれかのコースを修了している必要があります。

- [VMware Workspace ONE: Deploy and Manage \[V20.x\]](#) (VMware Workspace ONE: 導入と管理 [V20.x])  
または
- [VMware Workspace ONE: Skills for Unified Endpoint Management \[V20.x\]](#) (VMware Workspace ONE : 統合エンドポイント管理において必要なスキル [V20.x]) および [VMware Workspace ONE: Integrating the Digital Workspace \[V20.x\]](#) (VMware Workspace ONE : デジタルワークスペースの統合 [V20.x])

## 受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [オンサイト トレーニング](#)

## 使用製品

- Workspace ONE 20.x
- Workspace ONE UEM 20.x
- VMware Workspace ONE® Access™ 20.x
- VMware Horizon 7.x
- VMware Unified Access Gateway™ 3

## コースのモジュール

### 1 コースについて

- 概要およびコースの流れ
- コースの目標

### 2 Workspace ONE UEM トラブルシューティングの基礎知識

- Workspace ONE UEM の問題のトラブルシューティングに際しての一般的なロジック
- Workspace ONE UEM の問題の分類
- トラブルシューティングにログを使用するタイミングと理由
- 各種ログ レベルの比較
- ログ収集の主な要因
- Workspace ONE UEM の生産性および統合の各コンポーネントのワークフロー トポロジー

### 3 Workspace ONE UEM Console のトラブルシューティング

- Workspace ONE UEM Console の問題のトラブルシューティングのベスト プラクティス
- Workspace ONE UEM Console の一般的な問題
- Workspace ONE レポートのトラブルシューティング
- グループ管理と割り当てに関連する問題のトラブルシューティング
- システム設定と管理者ロールに関連する問題のトラブルシューティング
- コンソール イベント ログを使用した Workspace ONE UEM Console の問題のトラブルシューティング
- Workspace ONE UEM Console ログの収集と分析

### 4 Workspace ONE UEM エンタープライズ統合のトラブルシューティング

- Workspace ONE UEM エンタープライズ統合の問題のトラブルシューティングのベスト プラクティス
- エンタープライズ統合の一般的な問題
- AirWatch Cloud Connector に関連する問題のトラブルシューティング
- ディレクトリ サービスの統合に関連する問題のトラブルシューティング
- 証明書認証局の統合に関連する問題のトラブルシューティング
- Workspace ONE UEM Console の Workspace ONE Access 統合に関連する問題のトラブルシューティング

### 5 Workspace ONE UEM エンドポイントのトラブルシューティング

- 各種エンドポイント プラットフォームのエンドポイント接続 トポロジー
- エンドポイントのトラブルシューティングのベスト プラクティス

- 一般的なエンドポイントの問題
- エンドポイントの加入の問題を解決するための一般的なトラブルシューティング ロジック
- エンドポイントの加入設定の検証
- エンドポイント接続のトラブルシューティング
- Workspace ONE UEM Console のハブ設定の検証
- プロファイル ライフサイクル管理の問題の一般的なトラブルシューティング ロジック
- 一般的な順守ポリシー ライフサイクル管理の問題
- Workspace ONE UEM デバイス サービス ログの収集と分析、およびターゲット ログギングにおける主な要素
- 特定のデバイス イベント ログ エントリのカテゴリとログ レベル
- DEP 加入の問題のトラブルシューティング

### 6 Workspace ONE UEM E メール のトラブルシューティング

- E メール管理の問題の一般的なトラブルシューティング ロジック
- 一般的な E メールの問題
- E メール プロファイルと VMware Workspace ONE® Boxer の設定に関連する問題のトラブルシューティング
- VMware AirWatch® Secure Email Gateway™ に関連する問題のトラブルシューティング
- PowerShell 統合に関連する問題のトラブルシューティング
- E メール順守ポリシーに関連する問題のトラブルシューティング
- E メール通知サービスに関連する問題のトラブルシューティング
- AirWatch Secure Email Gateway ログと E メール サーバ ログの収集手順

### 7 Workspace ONE UEM アプリケーションのトラブルシューティング

- アプリケーション管理の問題のトラブルシューティングのベスト プラクティス
- 一般的なアプリケーション管理の問題
- 公開アプリケーション管理のライフサイクルに関連する問題のトラブルシューティング
- 内部アプリケーション管理のライフサイクルに関連する問題のトラブルシューティング
- Apple Volume Purchase Program に関連する問題のトラブルシューティング
- Windows Store for Business に関連する問題のトラブルシューティング
- アプリ ベース VPN に関連する問題のトラブルシューティング
- アプリ ベース トンネル ログの収集と分析

### 8 Workspace ONE UEM Content のトラブルシューティング

- コンテンツ管理の問題のトラブルシューティングのベスト プラクティス

- 一般的なコンテンツ管理の問題
- VMware AirWatch® のコンテンツ管理に関連する問題のトラブルシューティング
- コンテンツ ゲートウェイに関連する問題のトラブルシューティング
- コンテンツ ゲートウェイ ログの収集と分析
- 管理リポジトリに関連する問題のトラブルシューティング
- ユーザー リポジトリに関連する問題のトラブルシューティング
- Workspace ONE Content アプリケーションに関連する問題のトラブルシューティング

## 9 認証方法の詳細

- Workspace ONE でサポートされる認証方法
- 各種認証ワークフロー：
  - パスワード認証
  - SAML 認証
  - OAuth2.0 認証
  - OpenID 接続認証
  - WS-Fed 認証
  - 証明書による認証
  - Kerberos 認証
  - 多要素認証

## 10 モバイル シングル サインオン (SSO)

- モバイル SSO を使用するメリットについて理解する
- iOS/Android モバイル SSO のワークフローについて理解する
- iOS ネイティブ アプリケーションの モバイル SSO を構成する
- Android ネイティブ アプリケーションの モバイル SSO を構成する

## 11 アプリケーションへのシングル サインオン

- アプリケーションのシングル サインオン ワークフローについて理解する
- SAML プロトコルを使用して Web アプリケーション SSO を構成する
- OpenID Connect プロトコルを使用して Web アプリケーション SSO を構成する

## 12 Azure AD および Office 365 との連携

- Workspace ONE で Azure AD/Office 365 SSO を構成するメリットについて理解する
- Azure AD と Workspace ONE との連携のユースケースを確認する
- Workspace ONE Access による Office 365 SSO の構成手順を理解する
- Azure AD と Workspace ONE UEM の連携手順を理解する
- Microsoft Azure で VMware Horizon® Cloud Service™ を構成および管理する手順を理解する

## 13 Okta との連携

- Okta と Workspace ONE を統合するメリットについて理解する
- Okta が ID プロバイダー/サービス プロバイダーとして構成されている場合の Okta 連携オプションについて理解する
- 各種ユースケースにおける Okta 連携のワークフローについて理解する
- 各種ユースケースにおける Okta 連携の構成手順について理解する
- Workspace ONE コンソールと Okta コンソールによる Okta 連携の各種設定を実行する

## 14 その他のサードパーティ IdP との連携

- サードパーティ ID プロバイダーとして AD FS および PING を統合するメリットを理解する
- AD FS と PING との連携手順を理解する
- Workspace ONE Access コンソールでサードパーティ ID プロバイダーを構成する
- サードパーティ ID プロバイダーの認証方法を構成する
- 連携したサードパーティ ID プロバイダーに対応したアクセス ポリシーに変更する

## 15 高度な構成

- 高度な Workspace ONE のユースケースを確認する
- UAG ID ブリッジングのワークフローについて理解する
- 条件に基づいたアクセスに IP 制限を組み込む手順を理解する
- ID プロバイダー チェーニングのワークフローについて理解する

## 16 Workspace ONE AirLift

- 従来の PCLM と最新の PCLM の違いについて理解する
- 最新の PCLM トランスフォーメーションの共存管理の各フェーズについて理解する
- VMware Workspace ONE® AirLift™ を使用するメリットを理解する
- Workspace ONE AirLift の導入と初回構成の手順を理解する
- SCCM のコレクションを Workspace ONE UEM のスマート グループにマッピングする
- SCCM から Workspace ONE UEM に サポート対象の Win32 アプリケーションをエクスポートする
- アクティビティ ログとダッシュボードを使用して基本的な問題のトラブルシューティングを行う

## 17 VMware Horizon

- Horizon の機能とメリットを確認する
- Horizon の概念および論理的アーキテクチャについて理解する
- 仮想デスクトップおよびアプリケーション インフラストラクチャのユースケースを定義する
- お客様の要件をユースケースの属性に置き換える

## 18 Workspace ONE Intelligence の高度な使用

- VMware Workspace ONE® Trust Network パートナーの概略
- Workspace ONE Trust Network パートナーと連携するメリットを理解する
- Workspace ONE Intelligence の一般のおよび複雑なユースケースの概略
- VMware Workspace ONE® Intelligence™ の各種ダッシュボードでデバイスのライフサイクル全体を監視する
- Workspace ONE Intelligence と Workspace ONE Trust Network ソリューションプロバイダーを統合する

## 19 VMware Carbon Black との統合

- VMware Carbon Black の主な機能の概略
- VMware Carbon Black を使用するメリットを理解する
- VMware Carbon Black Cloud™ コンソールの操作
- VMware Carbon Black Defense の機能の概略
- VMware Carbon Black LiveOps の機能の概略
- エンドポイントへのセンサーの導入
- VMware Carbon Black コンソールでのアラートの表示と管理
- VMware Carbon Black と Workspace ONE Intelligence の連携
- VMware Carbon Black データを利用した分析と自動化

## 20 Workspace ONE 設計の基礎知識

- 高レベルの Workspace ONE 製品設計方式の概略
- 使用可能な Workspace ONE アーキテクチャの種類
- End User Computing (EUC) ソリューションの設計フェーズの概略
- 論理設計と物理設計の違いを理解する

## 21 ユースケースの確認

- 主なビジネス要因とユースケースの判別
- Workspace ONE ソリューションの展開に適したユースケースの判別
- 一般的なユーザー使用環境の種類
- Workspace ONE コンポーネントとユースケースをマッチングさせる
- ユーザー使用環境に適したテクノロジー/インテグレーションの選択

## 22 論理設計と物理設計の作成

- 大まかな論理ソリューション アーキテクチャの設計
- 論理アーキテクチャの検証

- Workspace ONE の必須コンポーネントのハードウェア、ソフトウェア、ネットワークの要件
- 物理アーキテクチャの作成
- 物理設計の物理要件の文書化
- 必須連携機能の要件の収集
- 物理アーキテクチャの検証

## 23 Workspace ONE ソリューションの提供

- Workspace ONE ソリューションの展開フェーズを作成する
- プロジェクトのマイルストーンの決定
- Workspace ONE ソリューション展開の実行プランを作成する
- Workspace ONE ソリューション展開の検証基準の決定
- Workspace ONE ソリューションのエンドユーザー展開プランの適切な設計

## お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、[japan-education@vmware.com](mailto:japan-education@vmware.com) までお問い合わせください。



VMware株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア13F [www.vmware.com/jp](http://www.vmware.com/jp)

© 2020 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/jp/download/patents.html> のリストに表示されている1件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界基準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記明記保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証（商品性に対する黙示保証および特定目的に対する適合性の黙示保証を含みます）に代わるものではありません。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料（以下「ワークショップ資料」といいます）の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に限り本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびその他のいかなる許諾された権利を他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。